

ろくれい奨励賞受賞者の紹介（学年は受賞時）

●おやつ工房PAKKUN（代表：湯本さつき）

私たちは①みんなにやさしい②作り方がやさしい③地域・地球にやさしい、の「3つのやさしさ」をコンセプトに、卵・乳・小麦を使わない食物アレルギー対応のお菓子のレシピ考案と発信をしています。主な活動として、フリーペーパーやSNS等でのレシピ発信や、考案したレシピを使ったおやつ教室の開催などがあります。

長野県立大学食健康学科の学生3人で立ち上げ、現在は同学科の後輩が活動を引き継いでくれています。



PAKKUNの皆さん



矢澤ひな子さん

●アフターガールズ（代表：矢澤ひな子）

私は生まれ育った地元、飯田下伊那の魅力をInstagramで発信しています。県内での知名度が低く、地元の若者が「何もない」と感じている実態を変えるために活動しています。

●FUN2022学園祭実行委員会（代表：山本勇氣）

京都市育ちで、大学進学を機に長野に移住した大学4年生です。在学中はゲームサークル長、象山寮寮長、令和4年度学園祭の実行委員長を務めました。現在は、次の学園祭開催に向けた計画立てと、バランスの取れた学生自治の実現に向けて、学内の組織づくりに取り組んでいます。大学に関わる人・組織を繋ぐハブのような人材を目指して勉強中です。



山本勇氣さん

●ソーシャルイノベーション研究科1年（川向思季）

私は長野県立大学の起業プロセスにある大学生の参与観察を手法とし、起業成果ではなく個々の学生の起業プロセスや背景に焦点を当てた地方の学生起業の質的研究を進めるとともに、「地方」「学生」「学びの場づくり」をキーワードに長野市内中心街にて地域と学生の接点を生み出していくための取り組みを行っています。



川向思季さん

長野県立大学同窓会六鈴会 創立90周年記念総会および式典

ごあいさつ

本日は、長野県立大学同窓会「六鈴会」創立90周年記念総会および記念式典に大勢の方々のご出席をいただき誠にありがとうございます。

同窓会「六鈴会」は、長野県女子専門学校時代の1932年に発足いたしました。長野県短期大学時代を経て現在の長野県立大学まで、学ぶ様式が変わる中で約1万6000人の卒業生が生まれ、2022年誇りある90年の歴史を共に積み上げることができました。これもひとえに長野県、学校関係の方々のお力添え、そして何より同窓会員皆様の多大なるご支援のおかげと深く感謝しております。

同窓会「六鈴会」を取り巻く社会の状況も大きく変化してまいりました。大切なことは、この90周年の節目を契機に次の100周年という大きな目標を目指し、邁進していくことと考えます。皆様方にはより一層のご支援とご協力を心からお願いをいたします。



六鈴会会長
小林いせ子

総会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 来賓あいさつ
長野県立大学学長 金田一真澄様
六鈴会前会長 岡村昭子様
4. 来賓紹介
5. 議事
6. 閉会

式典次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 来賓あいさつ
長野県立大学理事長 安藤国威様
4. 来賓紹介
5. 記念事業について
6. 表彰式
・ろくれい奨励賞表彰
・受賞者のあいさつ
7. 学生サークル発表
アカベラサークルUnsemble
菅野有柚 佐野明日香
田辺彩香 中山紀香
佐野秀和
・「そばかす」JUDY AND MARY
・「学歌」
8. 「新しき世に」を歌う
作詞 井上柳梧 作曲 久田貞祐
9. 閉会



90周年記念植樹



六鈴会寄贈開学記念モニュメント

お祝いメッセージ



長野県立大学 理事長
安藤 國威 様

六鈴会創立90周年記念総会の開催にあたり、心よりお祝詞を申し上げます。
六鈴会を受け継ぐ責任の重さを感じたのは、長野県立大学の開学を前にして長野市で説明会を開いた際、ある有名企業の社長様から痛烈な一言を浴びせられた時でした。

「毎年県短大から素晴らしい卒業生を採用させてもらっている。4年制の県立大学になって今まで以上の優秀な人材を送り出すと約束できるのですか？」

開学2年目の終わるころ、予想もしなかったコロナ禍に見舞われ、本来理想とした学園生活とはかけ離れたものになってしまったにも拘わらず、学生達はその様な逆境に立ち向かい、昨年と今年の春学窓を巣立った卒業生たちは、公立大学としては日本でトップの就職率を誇るレベルにまで達していたのです。

先日、件の社長様から、採用して頂いた卒業生に対して感謝の言葉を頂いた時、私の胸中をよぎったのは、六鈴会の先輩の方々に対して県短大ブランドを守る責任を果たしているという大いなる安堵感でした。

祝賀の祝い

六鈴会が創立90周年を迎えられたとのこと、誠にありがとうございます。そしてそのことを記念し、本学の旧図書館前に八重の紅枝垂桜を植樹して頂きました。来年、素晴らしい薄紅の花が咲くことを楽しみにしています。

昨年は、六鈴会から長野県立大学に対しまして、学生支援募金として多大なご寄付を賜りました。お陰さまで、今年もその資金を活用して、継続的な修学支援を実施することができました。改めて感謝申し上げます。

県短大の卒業生の優秀さは夙に有名です。今でも卒業生たちが、更に海外で学びたい、海外で活躍したいという高い志を持って、本学に必要な書類の請求にやってきました。彼らの英文の卒業証明書にサインをしながら、私も彼らのグローバルな夢を共有できることを幸せに感じています。本当に素晴らしい同窓生たちです。

六鈴会のますますのご発展と、会員の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



長野県立大学 学長
金田一 真澄 様

六鈴会創立90周年記念総会及び記念式典のご案内をいただきありがとうございました。開催にご尽力いただきました現役員の皆様、ご高配を賜りました大学関係者の皆様方に感謝申し上げます。3年前の2020年3月に予定されていた長野県短期大学閉学式が、コロナ禍により直前に延期、そして中止となってしまいましたので、今回、長野県立大学へと発展した三輪のキャンパスを訪れる機会となりましたことを嬉しく思います。

母校は、昭和4年長野県女子専門学校として開校しました。同窓会は、その3年後の昭和7年に発足し、母校と共に90年の歴史を刻んでまいりました。特に「いつか四大に」との想いを秘めて歩みを進めていた母校と連携し、四大化実現に向けて一丸となり邁進した軌跡は、忘れることはないでしょう。

六鈴会が長野県立大学開学祝にお贈りした、表面には「UNIVERSITY OF NAGANO」と象徴、背面には「同窓会 六鈴会」と表記されたモニュメントは、母校が短大から四大へと移りゆく大きな節目の証となり、三輪の学舎がさらなる発展へと繋がっていくシンボルとなることでしょう。



同窓会六鈴会 前会長
岡村 昭子 様

「六鈴会」女子専門学校から四年制大学までの歩み

1929 (昭和4) 4月	長野県女子専門学校開校 全国6番目の公立女子専門学校	2007 (平成19) 1月	臨時理事会に於いて再度四大推進委員会設立
		2月	四大化推進に向けて齋沢長野市長と面談 要望書提出
		4月	四大化推進に向けて村井知事と面談 要望書提出
1932 (昭和7) 6月	同窓会創立委員会創立・会則決定・同窓会発足 初代会長に土屋幸正校長就任	2008 (平成20) 9月	母校にて開催された県議会文教委員会に、長野市と六鈴会が四年制移行について陳情
1939 (昭和14) 11月	母校創立10周年記念として、校旗・ピアノ献納 記念植樹 勤続職員5名を表彰	2009 (平成21) 10月	母校創立80周年記念 信濃毎日新聞に記念広告掲載、 外灯（六鈴会館周辺）寄贈、大木桜植樹
1950 (昭和25) 4月	長野県短期大学に移行	2011 (平成23) 3月	阿部守一長野県知事と面談 長野県内の全支部長と 共に四年制化を要望
1951 (昭和26) 11月	同窓会の名称を「六鈴会」とする 校章の「六鈴」に由来	2012 (平成24) 9～10月	長野県立設置準備委員会で示した県立大学 基本構想素案のパブリックコメントに変更を 求める意見を応募
1971 (昭和46) 5月	通常会員より選出の初代会長に、 酒井 武代 (昭7本) 就任	2015 (平成27) 5月	定期総会に於いて、新県立大学開学時に2,000万円の 寄贈を決定
1974 (昭和49) 5月	専従職員制度新設	2016 (平成28) 5月	祝歌「新しき世に」歌碑建立・寄付 (会員の篤志寄付を原資として建立)
1976 (昭和51) 7月	六鈴会事務局整備 旧音楽室を借用	2017 (平成29) 7月	母校四大移行に伴い今後の同窓会(六鈴会)の あり方について、県立大学設置担当部と懇談
1979 (昭和54) 9月	母校創立50周年記念事業 (緑化) 祝金贈呈	8月	六鈴会の今後について 県からの指示で四大学生に 対し入金金徴収 終身会費徴収は先送りとなる
1981 (昭和56) 5月	六鈴会会則改定 新会則(会費徴収開始)	9月	六鈴会会員名簿～90年の足跡と新たな歩みに向けて～ 発行
10月	六鈴会会報創刊		
1986 (昭和61) 11月	六鈴会事務局 厚生会館2階に移設	2018 (平成30) 4月	長野県立大学開学 同窓会名を長野県立大学・長野県短期大学 同窓会 六鈴会と改称 (短大閉学までの仮称)
1988 (昭和63) 5月	六鈴会創立55周年記念「ふくさ」作成・頒布	長野県女子専門学校・長野県短期大学全史編集協力	
1991 (平成3) 3月	母校創立60周年として図書館落成 祝金贈呈	2020 (令和2) 3月	長野県短期大学閉学にあわせ長野県女子専門学校・ 長野県短期大学全史発行
5月	定期総会 (於 軽井沢) にて、母校の四年制大学 昇格推進決議	4月	同窓会名を長野県立大学同窓会「六鈴会」と改称 長野県短期大学 閉学 長野県立大学開学記念モニュメント「果実」寄贈
9～11月	同窓生の四年制大学昇格署名活動実施 支部毎に 街頭署名実施		
12月	長野市に四年制大学昇格陳情書提出		
1992 (平成4) 2月	長野県に4年制大学昇格陳情書提出		
3月	県議会に四年制大学昇格請願書と12万余の署名簿提出 県議会議長よりの請願書採択通知書受領		
1994 (平成6) 4～5月	一般県民・高校生に四年制大学に関するアンケート実施	2021 (令和3) 12月～3月	コロナ禍に伴う緊急学生支援募金実施
12月	長野県議会に四年制大学昇格早期実現陳情書提出		5,290,000円を母校に寄付
1996 (平成8) 11月	六鈴会チャリティバザー実施・収益寄付 (長野県障害者福祉センター) 翌年～2016 (平成28) 年まで長野県内の養護施設へ収益金寄付		
1999 (平成11) 10月	母校創立70周年記念ピンバッジ作成・頒布 祝金贈呈		
2001 (平成13) 1月	長野県議会に四年制大学昇格請願書提出・採択される		
3月	長野県議会より「請願書採択通知書」受領		
2004 (平成16) 4月	母校改組 男女共学、学科・専攻名改称 専攻科幼児教育学専攻 (1年) を新設		
4月	終身会費制度導入		
2005 (平成17) 2月	長野県短期大学改組に伴う学生ホール (仮称「六鈴会館」) 建設資金募金実施		
10月	学生ホール (六鈴会館) 竣工、母校へ贈呈		



「コロナ禍に伴う緊急学生支援募金」を寄付



お米券を配布
2021年10月～2022年9月



学生応援ランチを提供
2022年10月～2023年9月 (予定)